

市民のひろば

市民の皆さんからの投稿作品をご紹介します！



田原市ふるさと大使 小川泰弘選手 子どもたちに野球指導!!

令和元年12月15日(土)渥美運動公園野球場で、田原市ふるさと大使(渥美半島夢大使)の東京ヤクルトスワローズ・小川泰弘選手、同球団の中村悠平選手、上田剛史選手、高橋奎二選手を招いて少年野球教室を開催しました。田原市スポーツ少年団の子どもたち約150名が参加し、投手組・捕手組・内野組・外野組に分かれて指導を受けました。

小川選手は子どもたちの質問に答えながら、ボールの握り方や足の踏み出し方などを一人一人細やかに説明し、指導していました。「ピッチャーはキャッチボールが一番大事」「投げると膝ではなく、お尻から前に出していくイメージでやると、ためがけて速い球が投げられるようになる。そのためたくさん走って、食べて、強い下半身を作つてほしい」とアドバイスを送っていました。



▲指導する小川選手



▲投球フォームを見せる小川選手



▲模擬試合でバットを持つ小川選手

午前中には、ライアン小川杯争奪学童軟式野球大会の決勝戦が行われ、田原東部スポーツ少年団と神戸スポーツ少年団が対戦しました。小川選手も決勝戦を観戦し、表彰式・閉会式では両チームの健闘を称えました。

小川選手・高橋選手が投手組の終盤に力のこもったピッチングを披露し、間近で見る迫力あるプレーに子どもたちは目を輝かせ、大興奮でした。

ポジション別練習のあとは、各スポーツ少年団の子どもたちが守備につき、プロ野球選手と対戦する模擬試合を行いました。プロ選手が少年野球チームに入って一緒にプレーするなど、憧れの選手のプレーを間近で体感でき、子どもたちにとって良い経験となったのではないでしょうか。

小川選手は「お父さん、お母さんがいて、野球ができる。感謝の気持ちを忘れずに、夢を大きく持って努力していくば、夢はかなえられるので、野球を楽しんで頑張ってください」と力強く語りました。

選手たちのアドバイスやメッセージを受け止めて、それぞれが夢や目標を持って成長し、小川選手のように夢をかなえてくれるといいですね。